

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340070 _ 001

【1.基本情報】

事業名	東部クリーンセンター管理					
担当部名	環境部		担当課名	東部クリーンセンター		
実施方法	その他	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	10	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、ごみを衛生的に効率よく処理する。					
内容 (手段・手法など)	ごみを効率よく焼却し、信頼性の高い排ガス処理システムにより、ダイオキシン類等有害ガスの排出を抑制し、周辺環境の改善に努める。また、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを最大限に活用する発電設備により、施設への電力供給を行うと共に余剰電力を売却する。					
事業の 対象	何を	ごみ処理(普通ごみ及び粗大ごみ)				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	ごみ焼却(処理能力最大450t/日、稼働日数351日)、発電能力7,000kw 粗大ごみ処理(処理能力最大30t/5h)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	101,400	3,120	83,980	2,600	82,680	2,600
パートタイム会計年度任用職員A	26,368	2,560	16,068	1,560	15,251	1,510
パートタイム会計年度任用職員B	374	78	840	175	675	135
計(A)	128,142	5,758	100,888	4,335	98,606	4,245

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		870,325	860,081	878,577
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	ごみ焼却施設運転管理業務委託	366,960	369,644	361,144
	ごみ焼却施設整備工事	133,819	155,319	168,955
	発電設備法定点検業務委託	25,168	49,610	25,520
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		870,325	860,081	878,577

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	998,467	960,969	977,183

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	40	80	79
その他	324,414	24,119	38,412
計(F)	324,454	24,199	38,491

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	674,013	936,770	938,692

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,652	2,305	2,329

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	廃棄物焼却量(粗大ごみ処理量)		単位		t	
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
目標値	102,410	(6,990)	102,410	(6,990)	102,410	(6,990)
実績値	106,551	(8,962)	103,772	(8,725)	98,103	(7,983)

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	発電量 (売電量)		単位		万kWH	
	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
目標値	(3,749)	1,925	(3,749)	1,925	(3,749)	1,925
実績値	(4,346)	2,462	(4,008)	2,188	(3,423)	1,595
達成状況	○(達成)		○(達成)		×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市の責務である一般廃棄物処理。 継続的・安定的・確実にを行うために、市が主体となって施設を維持管理し、一般廃棄物の処理を行う必要がある。 処理施設の統合による一元化は、焼却炉の停止の際に市民に多大な影響を及ぼす恐れがある。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	焼却施設の全面的な運転管理を当初から委託し、安定的な運転管理が行われている。 市の責務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	継続的に良好な関係が構築されており有効に機能している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	安心・安全のごみ処理を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市の責務であり、他の方法への変更は困難である。現状維持が妥当と思われる。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 1340070 002

【1.基本情報】

事業名	芥見リサイクルプラザ管理					
担当部名	環境部		担当課名	東部クリーンセンター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	10	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市リサイクルプラザ条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	再使用品譲渡事業として抽選会と、不要になった物を材料としたリサイクル体験教室を開催し、資源の再利用やリサイクルについて考え実践する場としてもらうため実施する。					
内容 (手段・手法など)	施設見学、再使用品譲渡事業として抽選会、リサイクル体験講座として紙すき体験、リサイクル工作及び夏休み親子リサイクル体験講座を行っている。					
事業の 対象	何を	再使用品譲渡事業及び体験講座として不用品を材料としたリサイクル工作				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	平成30年度から休館中				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	5,356	520	4,017	390	3,777	374
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	5,356	520	4,017	390	3,777	374

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		350	449	913
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	再使用品選別修理作業業務	0	0	118
	PR事業	82	28	44
	パンフレット作成	0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		10,278	10,278	10,278
計(D)=B+C		10,628	10,727	11,191

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	15,984	14,744	14,968

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	15,984	14,744	14,968

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	39	36	37

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	—		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	ごみ減量化のため、市民への啓発は必要事業である。 ごみ減量化のため、市民への啓発は必要事業である。 類似の事業は無い。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多く、大杉一般廃棄物最終処分場 学習棟に場所を変更して開催している。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。 現状の運営(嘱託2人)が最も効率的と考える。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	施設見学:小学生を中心に要望が多いが、東部クリーンセンターでの 見学受入ができなかった。場所を大杉一般廃棄物最終処分場に変更 し、実施している。 講座:広がり不足特定の利用者の利用にとどまっている。火災後新 粗大棟は完成したが、引き続き跡地整備工事が開始されたので場所 を大杉一般廃棄物最終処分場に変更し、実施している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	ごみの減量と再資源化の啓発事業であるための受益者に負担を求め る事業ではない。
〔総合評価〕 ・拡充:目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持: 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善:目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止:実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	コロナ禍であり、また休館であったため評価できる状況になかった、 令和5年4月の8年ぶりの開館に向け、事業内容の見直しを行った。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1340070	__ 003
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	最終処分場管理					
担当部名	環境部		担当課名	東部クリーンセンター		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	—	年度～	年度	根拠法令・関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	最終処分場の維持管理を適正に行い公害防止に努める。					
内容 (手段・手法など)	焼却残渣の埋立及び浸出水を適正に処理して、周辺の環境保全に努める。					
事業の 対象	何を	焼却残渣				
	誰に	岐阜市民				
	どのくらい	埋立総容量(大杉一般廃棄物最終処分場) 270,000m ³ 浸出水処理能力(北野阿原一般廃棄物最終処分場 220m ³ 大杉一般廃棄物最終処分場 180m ³ /日)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	10,712	1,040	7,416	720	7,312	724
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	10,712	1,040	7,416	720	7,312	724

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		76,205	84,557	106,556
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	埋立地及び河川水質検査業務委託	4,729	4,675	5,516
	浸出水処理施設維持管理業務委託	10,505	10,709	11,000
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		76,205	84,557	106,556

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	86,917	91,973	113,868

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	8,065	8,173	8,173
その他	591	92	100
計(F)	8,656	8,265	8,273

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	78,261	83,708	105,595

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	192	206	262

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	埋立量		単位	t
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	16,400	16,400	16,400	
実績値	14,691	13,905	13,149	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	環境への影響		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	0	
実績値	0	0	0	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市の責務である一般廃棄物処理。 地元住民の協力、理解によって成り立っている事業であり、継続的な 地元理解を得るため、市が主体となって事業を行うことは必要である。 類似の事業は無い
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	地元住民の理解を得るため必要なコストである。 市の責務であり、他の方法への変更は困難である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	継続的に良好な関係が構築されており有効に機能している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	適正な浸出水を確保しつつ、効率的な運営を行っており、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	拡充	目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	1340070	__ 004
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	リフレ芥見管理					
担当部名	環境部		担当課名	東部クリーンセンター		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	指定管理者	
開始・終了年度	平成	18	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
					岐阜市リフレ芥見条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	スポーツ、リクリエーション施設として提供し、市民及び学校教育に利用して頂き、健康増進や文化リクリエーション活動の支援を目指す。					
内容 (手段・手法など)	歩行浴プール棟(歩行浴プール・サウナ・ジャグジー・温浴プール・リラクゼーションルーム・談話室・多目的ルーム・トレーニングルーム)、多目的ドーム、足湯、幼児用プール、芝生広場					
事業の 対象	何を	歩行浴プール棟、多目的ドーム				
	誰に	岐阜市民等				
	どのくらい	令和4年度の開館目標309日間				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3	0.1	6	0.2	6	0.2
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3	0	6	0	6	0

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		38,161	30,120	37,741
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	指定管理料	26,809	28,338	36,353
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		38,161	30,120	37,741

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	38,164	30,126	37,747

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	21	21	21
その他	0	63	1,413
計(F)	21	84	1,434

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	38,143	30,042	36,313

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	93	74	90

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	稼働日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	303	308	309	
実績値	283	254	309	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	利用者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	60,000	60,000	60,000	
実績値	30,178	33,886	45,422	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	手軽にできる健康増進施設である。 迷惑施設とされる一般廃棄物処理施設建設時に、地元対策として建設した。 類似の事業は無い。地元の還元施設であるため、統廃合は出来ない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	指定管理者制度を導入し安定的な運営ができています。 指定管理者制度を導入し安定的な運営ができています。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	利用料金制を取り入れた指定管理者制度を導入して安定的な運営管理が行われている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	指定管理者制度と利用料金制度により適正に運用されている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	コロナ禍の中での運営で、利用者数の目標値未達はやむを得ない。今後は、コロナ架からの回復期となるため、目標値を目指し事業を継続する。